

SAFETYDATASHEET(製品安全データシート)

1.製品及び会社情報

【製品名】 Cite プロ システム セカンド

【会社名】 株式会社ケイトオブ東京

【住所】 東京都渋谷区神宮前 6-19-20 第 15 新井ビル 7 階

【電話番号】 03-6427-7797

【担当部署】 商品部管理課

【使用上の制限】 推奨用途以外に使用される場合には、事前に安全性をご確認ください。

本製品が体内に留意する恐れのあるような用途には使用しないでください。

2.危険有害性の要約

危険性：(混合の危険性) 本物質は酸化剤であり還元性物質（チオグリコール酸塩等）と混合すると酸素を発生する。

GHS分類

物理学的危険性：該当しない

健康に対する有害性：分類できない

環境に対する有害性：分類できない

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：なし

注意喚起語：なし

危険有害性情報：なし

3.組成、成分情報

単一製品・混合物の区分：混合物

全成分：水、セタノール、臭素酸 Na、セトリモニウムクロリド、エタノール、セテスー30、
パルミチン酸エチルヘキシル、ヒアルロン酸 Na、加水分解ケラチン（羊毛）、アル
ガニアスピノサ核油、ベタイン、PCA-Na、ソルビトール、セリン、グリシン、グ
ルタミン酸、アラニン、トレオニン、プロリン、乳酸 Na、アスパラギン酸、PCA、

バリリン、イソロイシン、ヒスチジン、フェニルアラニン、プロピルパラベン、フェノキシエタノール、メチルパラベン、香料

4. 応急処置

皮膚に付着した場合 : 水でよく洗い流す。使用中に赤み、はれ、かゆみ、刺激等の異常が現れたときは使用を中止し、必要に応じて医師の判断を受ける。

目に入った場合 : 直ちに清浄な水で 15 分以上洗眼した後、医師の診断を受ける。

吸引した場合 : 気分が悪くなった場合は、風通しのよい場所へ移動し、新鮮な空気を吸わせる。

飲み込んだ場合 : 多量の水を飲ませる処置を行った後、直ちに医師の診断を受ける。

応急処置をする者の保護 : 特別な保護は必要ない。

5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は燃焼しない。
消火作業は可能な限り風上から行う。
関係者以外は安全な場所へ移動させる。
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な処置を行う。
酸化剤との混和を避ける。

消火を行うものの保護 : 消火作業の際は必ず適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急処置

: 作業の際には保護眼鏡を着用する。床に流出した場合、すべりやすくなるので注意する。

環境に対する注意事項

: 流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起ささないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法・機材

: 少量の場合は、ウェス等に吸収させて、密栓できる空容器に回収する。大量の場合には、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所へ導いてから処理する。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 製品記載の使用上の注意をよく読み、用途以外に使用しない。

保管

適切な保管条件 : 製品記載の保管条件を読み、適切に保管する事。

安全な容器包装資材 : 特になし

8.暴露防止及び保護措置

管理濃度 : 設定されていない。

許容濃度 : 設定されていない。

設備対策 : 通常の換気状態で使用可。

保護具

呼吸器の保護具 : 通常の手取り扱いは必要なし。

手の保護具 : 通常の手取り扱いは必要なし。

目の保護具 : 通常の手取り扱いは必要なし。必要に応じてゴーグル等の保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具 : 通常の手取り扱いは必要なし。

9.物理的及び化学的性質

外観 : 白色の粘ちょうなクリーム状

臭い : 特異臭

pH : 6.0~6.8

沸点 : 100°C以上

引火点 : なし

比重 : 未測定

屈折率 : 未測定

溶解度 : 任意の割合で水に溶解

粘度 : 15000~25000mPa,s

10.安定性及び反応性

安定性 : 常温、常圧下で安定。
危険有害反応可能性 : なし
避けるべき条件 : 直射日光にあたる場所、40°C以上の高温になる場所。
混触危険物 : 酸化剤との混和を避ける。
危険有害な分解成分 : データなし

11.有害性情報

急性毒性 (経口) : 情報なし
急性毒性 (経皮) : 情報なし
皮膚腐食性/刺激性 : 情報なし
目に対する重篤な損傷/刺激性 : 情報なし
感作性 : 情報なし
変異原性 : 情報なし

12.環境影響情報

生体毒性 : 情報なし
生体蓄積性 : 情報なし
その他 : 情報なし

13.廃棄上の注意

残余廃棄物 : 少量の本液を廃棄する場合は、水で十分に希釈しながら、浄化槽もしくは下水道に廃棄する。大量に廃棄する場合は、内容を明示したうえで、免許を持った産業廃棄物業者に処理を委託する。
汚染容器及び梱包 : 空容器を廃棄する時は、水で洗浄した後、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および各自治体の条例などに従い適正に処理する。

14.輸送上の注意

国際規則
IMDG : 海上輸送において特段の規定はない。

I C A O / I A T A : 航空輸送において特段の規定はない。

国連番号 : 該当しない

国連番号 : 該当しない

国内規制 : 特段の規定はない。

輸送の特定の安全対策及び条件

運搬に関しては容器に漏れのないことを確かめ、転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

輸送作業は取り扱い及び保管上の注意事項を留意して行なう。

15.適用法令

医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律（旧薬事法）：化粧品

労働安全衛生法 : 該当しない

消防法 : 消防法上の非危険物

毒劇物取締法 : 該当しない

P R T R 法 : 該当しない

化学物質管理促進法 : 該当しない

火薬類取締法 : 該当しない

船舶安全法 : 該当しない

港則法 : 該当しない

航空法 : 該当しない

道路法 : 該当しない

16.その他の情報

: 上記の記載内容は、現時点で当社が保有している情報に基づき、本製品の安全な取扱いについての参考資料として作成されたもので、製品の品質および安全性を保証するものではありません。危険・有害性の評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。尚、この情報は新しい知見に基づき改訂する事があります。